ラブリー・スマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

3回目を迎えた今回は、フレッシュなメリーさんがいっぱい。今日は、メリープロジェクトの仕掛け人である水谷孝次さんが12面のインタビューコーナーに登場し、メリーのすべてを語ってくれています。「ただ笑顔を集めているだけか」と思っているあなた。ぜひ最後まで読んで、彼の熱い想いに触れてみてください。

今週のメリーさん

世界の難民の子助けたい

保育園で子どもたちに「はるかせんせい」と呼ばれている川上春香さん（20）。3月に短大を卒業して保育士になり2歳児を担当している。「先輩の先生たちに迷惑かけっぱなしですが、子どもとかかわることは楽しいですね」。小さいころから年下の面倒をみるのが好きで、保育士を志していた。「将来は世界の難民の子どもたちを助けたい」といい、緒方貞子さんやオードリー・ヘプバーンが目標像だ。

就職はファッション系に

北海道ドレスメーカー学院のデザイナーコースを卒業したばかりの小浅亜希さん（21）は、服飾系の仕事を求めて就職活動中だ。「学校に入る前は服を作る仕事がしたいと思っていたけど、勉強していくうちにコーディネートの方が好きだってことがわかった」。ショップのディスプレーにも興味があり、夢は広がる。将来の野望は「大富豪になること」。だけど、「とにかく早く働きたーい」って感じです。

東京で美容師スタート

この春、札幌の美容専門学校を卒業した上総範丈さん（21）は、東京・青山の美容室に就職し、アシスタントとして忙しい毎日を送っている。「上京してまだ一カ月弱だが、大都会で過ごすうちに自分の価値観が変わったという。「学生時代は外見さえかっこよければいいと思っていたけど、これからは内面を磨いていきたい」。優しい先輩たちに助けられながら、しばらくこの街で腕を磨いてみるつもりだ。

母子で新生活1年生

この春、北海道芸術デザイン専門学校を卒業し、市内のデザイン事務所に就職した作井由紀さんは、6歳の男の子を持つママさんだ。子育ての傍ら5年間グラフィックデザインを学び、子どもの小学校入学をきっかけに夢への扉を開けた。「お互いの好きな夢を尊敬し合えるような母子になりたい」。デザイン事務所のアシスタントとして働くママを支えているのは、愛する子どもとのかけがえのない時間だ。

音楽好きなんです

眼鏡の買い物をしているときに写真撮影に参加してくれた石岡茉麻さん（21）は昼と夜のアルバイトを掛け持ちしながら、歌手を目指している。「音楽が好きなんです」と心から訴える。シンディー・ローパーやジュディー・アンド・マリーといった、個性的な女性シンガーの歌が得意。ボーカルライブなどにも出演して、実力を付けてこうとしている。歌で聴く人を元気づける女性になってもらいたいですね。

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

メリー自販機＆ごみ箱登場。フリーペーパーも完成間近

PJスタッフから

Merryオリジナルの自動販売機のイメージ図。自動販売機には同じデザインのチラシもついてます。5月30日のゴミ拾いに参加したい方は、チラシをご覧下さい

「ベンダー」って何かご存知ですか？私もMerryのスタッフになるまで知らなかったのですが、自動販売機のことです。

Merryオリジナルデザインの自動販売機とゴミ箱が21日から、四番街商店街に設置されます。これで買ったジュースを一口飲めば、Merryな笑顔になれます。…たぶん。Merryな気分でジュースを買ってください！

このベンダーの売り上げの一部は、Merry in Sapporoの運営資金として活用されます。5月30日まで設置されていますので、Merryを応援したい方はためらわずにMerryベンダーのジュースでのどの渇きを癒してくださいね。そして飲み終わった空き缶は、Merryゴミ箱へ。

街で集めた笑顔の写真とメッセージがいっぱい詰まったフリーペーパーもまもなく完成します。このフリーペーパーには四番街などで撮影した笑顔の写真と参加者のメッセージのほか、札幌で暮らす人や札幌が好きな人にお願いして書いていただいた「札幌の環境へのメッセージ」もたくさん載っています。

中には上田市長や鈴井貴之さんから頂いたメッセージもあるんです。配布場所など詳しいことが決まったら、また知らせします。

さて24日は1回目のゴミ拾いです。Merryのゴミ拾いの必須アイテムである「Tシャツ」と「ゴミ袋」について話しますね。ではまた来週

（プロジェクトスタッフ・加集いりえ）

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベントが「Merry in Sapporo」。ちょっと元気のない札幌や北海道をMerry（幸せ）で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」―5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。

詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。